

平成 20 年度「スポーツクラブ 21 ひょうご」芦屋市推進委員会会議要旨

日 時	平成 20 年 11 月 20 日 (木) 15:00 ~ 17:00		
場 所	市立体育館・青少年センター 第 1 研修室		
出 席 者	委 員 花木義輝, 大嶋三郎, 前川耕造, 井原一久, 古津純子, 野島さゆり (2 名欠席: 瀨田雅義, 金山千広) 事務局 藤原周三教育長, 橋本達弘社会教育部長, 西 初吉スポーツ・青少年課長, スポーツ・青少年課員 4 名		
会議の公表	公 開	非公開	部分公開
	< 非公開・部分公開とした場合の理由 >		
傍聴者数	0 人		

- 1 開会
- 2 委嘱状授与
教育長より, 委員 6 名 (2 名欠席) に委嘱状授与
- 3 自己紹介 委員 6 名及び教育委員会職員 (事務局) 7 名
- 4 教育長挨拶
- 5 委員長, 副委員長選出 (推進委員会設置要項第 5 条に基づく)
委員長に花木義輝氏, 副委員長に瀨田雅義氏を選出
- 6 新委員長挨拶
- 7 協 議
 - ・委員 6 名の出席により, 本推進委員会成立 (推進委員会設置要項第 6 条第 2 項)
 - ・議事録等の公開を確認 (情報公開条例第 19 条 ~ 保有個人情報の開示義務)

委 員 長 平成 19 年度末基金額について事務局から説明していただきます。

事 務 局 資料の平成 19 年度「スポーツクラブ 21 ひょうご」基金報告関係書をご覧ください。前年度末基金残額は平成 18 年度末の基金残額です。

平成 19 年度に精道, 浜風 2 クラブに兵庫県から各 1,000,000 円の基金の積立がありました。2 クラブとも平成 19 年度で基金の受け入れが終了し, 芦屋市の全スポーツクラブ 21 の基金積立は終了しました。

本年度基金取り崩し額の欄は平成 19 年度各スポーツクラブが基金から執行した金額です。

この内訳が, A3 の資料及び各クラブの収支決算書です。左の上段は収入額, 下段が支出額を記入しています。この数字は基金通帳とも一致します。会費と雑収入については, 各クラブの自主財源でありながら基金通帳に入れておられ, それがずっと積み重ねられておりましたので, 今年度 (平成 20 年度) 各クラブへお返しさせていただきます。現在その手続きをしております。基金額残額といたしましては, 左下の基金残額の計欄の金額です。

基金残額につきましては, 基金がまだ十分に残っているクラブとほぼお使いにな

ったクラブとがあります。ほぼ基金が残っていないクラブについて今後どうして行くかが課題となっています。会費等の徴収についても今後の課題であろうかと思えます。

各クラブの決算書と事業報告書ですがこの資料は、各クラブの総会で承認されており、事業報告書については、県の様式があり、この様式に則って記入していただいたものです。

以上が、平成19年度基金関係書で県事務局へ提出した報告です。

事務局 毎年県からのアドバイザー派遣事業があり、昨年度は打出浜、三条、潮見に派遣されました。その時に打出浜から出た相談ですが、会員の要望が多いので300万円の基金を使用して、夜間活動用に屋外に照明装置を付けたいとのことでした。県事務局からは学校施設は市の財産になるので、スポーツクラブの基金で購入した備品を学校施設に恒久設置をしてはならないと言われました。

施設の管理者に付けていただくのが基本で、例えば、移動式の夜間照明はクラブの活動時のみ使用し、クラブ倉庫に片付けるなら基金での購入はできますとのことでした。また設置については、近隣の理解も必要ということで説明に回られましたが、まだ一部残っているようです。設置については、残っている方への説明が終わりしだい、市との交渉をしたいというようなお話しをしておられます。

教育長 その件は解決しておかないと、いつまでもそれが残っていただけない。

事務局 現在は、クラブから連絡があれば、基金が使用できるかどうか県事務局に相談し、学校との交渉が必要であれば、市事務局も相談に入らせていただきます。

教育長 こういう内容は、校長先生、教頭先生では解決できないこともあり、個人の思いはあってもできないこともあるので、早急に考えなければならぬことです。県事務局が何がしか、負担の割合はあるとして、スポーツクラブの基金を使用しても良いということであれば、市も考えるが、すり合わせをしておかないといけぬ。

打出浜小学校の夜間照明については前から聞いていますが、現在はどうなっていますか。

事務局 先ほど、説明いたしました状況から進展しているとは聞いていません。

教育長 スポーツクラブ21の費用を入れて学校施設で何かをしたいという時にはどんなルールが必要かをすぐに決めておかないといけぬと思います。私ども管理部長と社会教育部長ですり合わせをし、県がどういう意見なのかを含めて、学校長だけに責任を負わせないよう早急にやります。

前川委員 合わせて、光熱水費の負担が毎月すごい額なので、そういったことのランニングコストとして出せるのであれば、たぶん管理部の方は喜んでくれると思います。学校側もうれしい。特に夜間照明は、けっこう電気の使用メーターが上がると思えます。

これから付けるとなると今後その電気の管理をどういったふうに形にするか、こまかなルールを決めたほうが良いと思います。スタートの時点で話し合いをしておいたほうが良いと思います。

教育長 教育委員会は市全体の厳しい予算の中で、消耗品、電気・ガス・水道代については抑えなければならないという大きな課題があります。今そのような費用負担についての見直しをしています。

この話とは違うのですが、小学生の給食の食器（皿、お茶碗）の破損の問題が

あります。芦屋市は磁器を使用しておりますので、この金額が膨大な金額になっている。いくらぐらいと思われませんか？ 1年間で壊れて補充する費用が市内8校あわせて平均（年によっては違いますが）250万円～300万円かかっています。

教育長 磁器が良いのはわかるけれど、こういうことで、校長先生に「あなたの学校はこれだけ割っているのでは何とかしなさいよ」的な発言が出て、校長先生が非常に苦労されている。

今、電気、ガス、水道使用料をこれだけの枠をあげますから、その中でやり繰りしてください。余った分については学校へ還元しますというような圧力をかけています。その中にコミスク、スポーツクラブ21が使用する電気、水道、ガス代も含まれているのです。

我々としては、市民が使うものですから出さなければいけないのですが、だからといって、自由にはいかないという、兼ね合いを考えていますので、市にお金がないので非常に厳しいことを言わせていただきますが、ご理解をいただきたい。

野島委員 話が違うのですが、スポーツクラブ21の種目クラブに学校の先生が関わっているクラブがある。そういう先生が指導しているクラブは盛んで、練習日も週に何回か取っているので子ども達の技量の差が歴然と出てくる。朝日ヶ丘はクラブ数が多いので週一回体育館を使えるのが精一杯で、週何回か取れる状態ではないのに、入学式、音楽会、文化祭、卒業式、造形展等でその前後一ヶ月は使用できない状態です。まして朝日ヶ丘は体育館が狭いので、半分だけ使用することはあり得ない。他の小学校で体育館の大きなところは半分ずつ使えると聞いています。

そういう不公平感がズーと私の頭の中にあって、その上に、私達の学校にスポーツクラブの指導をしていただけるような先生が来られない。地域のボランティアの方に週一回指導していただけるのが精一杯です。他の会場を借りて出て行くことはボランティアの方をお願いしにくいではないですか。

その先生が指導しているところは練習日数が違うし、大会出場経験が違うので、試合相手になれない。朝日ヶ丘ではスポーツクラブなので小学生の時は運動ってこんなに楽しいものだということを中心に置いているので、競技志向にしなくても良いと思っている。一方で、試合に行ったら、こんな点数の差で負けて、勝つ楽しさは一切味わわせてやれない。1年間練習していても一度も勝てない状況です。

その先生は勤務学校が変わっても現在指導しているクラブから動かないと言っておられる。この地域に根ざして活動されるのだなと頭の下がる思いがするし、たぶん、家庭を犠牲にされて指導されていると思うので、その先生のごことはとやかく言わないですが、この差を教育長から言っていただいて、先生に各学校平等に教えなさいと言っていただきたい思いがしています。

教育長 専門家の皆様に一度議論していただきたいのですが、スポーツクラブ21・コミスクでスポーツをする目標は何・・・ということが問題であるという気がします。

基本は今言われたように子ども達が楽しみながらやるということを目的にするというような、もっと専門的に言うと将来に目指してどこまでやるのかという芦屋市全体のスポーツのあり方も言えるのですが、シニアの方々の体力増進、維持のためのスポーツで良いという意見と、セミプロやプロを養成するという同じ土壌で動いていると非常にちくはぐができるのです。

これは、私のところへクレームがあったことですが、「あるクラブでお金を取って

指導しているのがあるが、何で市が協力するのだ」と言われたけれど、非常にこの線引きは難しい。今のところ、正直手をつけていません。この問題については、つけなければいけないと思いますが、つけられないのが現状です。種目はわかっています。そのクラブは強いから、山側から見たら余計に目につくのだと思います。

野島委員 私達のクラブは楽しくしているので人数がどんどん増えるのです。施設が狭いので男女一緒にしなければならない。1年生から6年生まで一緒に教えるから、それでも週一回しかないの、上達のしようがない。学年別に教えてあげたいけれど場所が無いので教えられない、でも楽しくしているので、また入ってくる。私も矛盾を感じているのです。私は楽しくしているのでこれで良いと思っても、試合に行ったらぼろ負けで帰ってきたらかわいそう、場所が無い。なぜ同じ芦屋の学校なのに朝日ヶ丘の体育館がなぜ狭いのだろうと思っています。

教育長 この体育館（体育館・青少年センター）を貸してくださいと言ったら、学校の体育館を使ってくださいと言われるでしょう。

野島委員 絶対貸してくれない。市芦（元市立芦屋高等学校体育館）を貸してくださいと言ったら、もう閉鎖しているので貸せないと言われる。どこも行くところがない。

教育長 全体に芦屋のスポーツ施設は足りない。ここ（体育館・青少年センター）の利用率などは今何パーセントですか。

事務局 ほぼ9割がた使用しています。

教育長 私は市にもう一つ体育館が是非必要だと思います。

野島委員 必要です。山手の方へ建ててください。なんでも南へ南へと行ってしまおうから。

橋本部長 学校施設は本来学校教育のための施設ですから、学校の立場はあると思うのです。教育長が言われているように、どうしてもというときは民間の施設が・・・民間の施設も芦屋には無いのでね。

野島委員 どこに有るのですか？

橋本部長 無いから・・・フットサルとか一部ありますが、難しいですね。

教育長 山手の方での体育館はおそらく不可能だと思います。場所が無い。市高の跡などはそういうことでは良かったのですが、市の財政難の中で売却予定地として動いていますから、それ以外に山の手で無いですね。

野島委員 無理だとわかっていて言っているのですが・・・

教育長 これについては、我々なんとか考えないといけません。

もう一つ、特定のクラブにだけ、特定の先生が力を入れ、強くなってというあたりで、「あなたそのクラブを指導してはダメ」とは言えない。一生懸命やっておられるのに。全市的に何か良い方法は無いものか考えたいと思います。

中学校でも今、潮見中学校で結構生徒数が減ってきている。浜の方が私学へ行く傾向がある。クラブにおける指導者が足りなくなっている。中学校における部活の指導者が足りなくなっている。

花木委員 そういう時に、体協の種目協会を活用したら良いと思います。小学生は塾に行く時間があると思いますが、高学年になると、スポーツに参加できる時間が学校体育の時間以外にあまり無い。時間と場所さえ用意していただければ、各種目協会ですっきりと指導体制をとってもらうことにより、大会に出ても決して劣るようなことにはならないと思います。

野島委員 小学生のことですから、学校が終了する時間の3時半とか4時とかは指導してい

ただけるのですか

花木委員 それは種目協会のその時間帯に指導できる指導者がいるかどうかですが・・・

野島委員 そうなんです。それが問題なんです。

花木委員 指導者も働きに行っている人が多いですから、勤務が終わってからか、休日になることが多いと思いますが。

前川委員 教師が教えているクラブでも4時からということは無いと思います。勤務中ですから。早くても5時からです。現実には5時からの指導にはかかれ無いと思います。土・日の指導であれば何とか時間を生み出せますが、やはり社会人と同じような時間帯になっていると思います。

野島委員 私が聞いているのは4時半には指導しておられると。

前川委員 それはおそらく休憩時間を活用してのことです。私の学校の先生もかかわっているが、毎回出ることはありません。その代わりにコーチ（市民）が来られているようです。教師が指導しているのは土曜日が中心と聞いています。

岩園の場合は、バスケットは潮見と一緒に、サッカーは浜風と一緒にしていると聞いている。

野島委員 岩園には児童が700人もいるのに、どうして一つの学校に一つのクラブができないのか。

古津委員 潮見ミニバスケットは人数が少なかったのが岩園と合同で練習等をしていましたが、人数がそろったので現在は潮見で練習しています。子どもの数が減ってきて1学年で1チームを作るのが難しい。サッカーは11人プラス補欠です。種目なので1学年で1チームを作ることが難しい。サッカー協会はコーチの方々がまとまっておられるので、市内のスポーツクラブ21で協力しあってチームを作ったり、練習会場をお互いに協力している。岩園、浜風、潮見が協力しあって練習をしています。

教育長 野球の監督は学校の先生が関わっていないですね。

野島委員 これは、土・日だから。古津委員がおっしゃったことは良いことだけれど、スポーツクラブ21は各小学校区にあるから、子ども達が地元で出来るようにするのが基本ではないか。それでも人数が足りないというのは致し方ないが。

岩園だと700人以上も生徒がいるのに、1チームもできないというのが逆に不思議です。朝日ヶ丘も岩園も条件は一緒なのに朝日ヶ丘は合併したり、合流したりはしていない。

6年生が少なくても5年生を入れて1チーム作っている。それが良いか悪いかは別問題にしておいて、やっぱり校区で作っておくほうが、交通の便とか、他の学校へ行く道中のことがあるから、私は地元を大事にしてほしいと思う。

前川委員 私もそのとおりだと思います。地元の学校が使えるのは地元の子が望ましいと思います。

野島委員 それを基本にしてほしい。

教育長 指導者はもっと指導したいということに駆り立てられますからね。その思いが悪いとは言えませんが難しいですね。今、指導している先生にあそこも指導しなさいとは言えませんのでご理解ください。実情はよくわかりました。

私どもに、こんな問題が出てきているのです。小学校の生徒の中にスポーツに強いとか、技術のレベルが高いということが学校生活に影響を与えて、強い子が学校

の中で不協和音の原因を作るということがある。オールマイティーにスポーツが非常に強いと、学校の中で人気者であるし、その子どもが言うと他の子どもたちが黙ってしまうとか、悪く言うとボスになっているということが僕のところまで届いています。子ども達の技術と心の問題を大人がうまく育ててやらないと逆効果になる。それでも、現実にこういうことがあるのです。

その子どもについては、先生と保護者が一緒に関わり、ある程度成功していますが、放置すると大変なことにもつながる

委員長 それでは平成20年度の事業計画と予算について説明をお願いします。

事務局 資料 平成20年度「スポーツクラブ21ひょうご」事業計画・予算書をご覧ください。

三条から浜風までの9クラブの予算書と事業計画書ですが、事業については、もうすでに実施しています。予算書にある助成（基金）金額については、年度末に精算し、残額は基金通帳に戻していただきます。クラブでは広告掲載料などは努力して集めていただいております。

どのスポーツクラブの予算書を見ても、人件費や交通費が記載されていないので聞いて見ると、スポーツクラブ21の役員は大半無償ボランティアなので、スポーツクラブ関係の会議、電話代等の経費が役員の持ち出しになっているということです。

全県サミット等で他市の状況を聞くと、最小限の経費はお支払いしているクラブがあり、また役員の報酬、交通費等を予算に上げておられるクラブがあります。

芦屋のクラブにもできれば会員にご理解を頂いて役員に対する最小限の経費はクラブが負担してはと思います。

大嶋委員 宮川のスポーツクラブは予算書で見ますと、基金残額が0円になるのですが、今後どのようにして運営されるのですか。

事務局 会員から年会費を昨年から1人2000円を1,000円に値上げをしておられます。

大嶋委員 予算書を見たらそれでできるようになっていますが。これは大変ですね。

事務局 自主運営するために会費の値上げをされたようです。会員数が多いので千円集められれば運営できるのではないのでしょうか。

大嶋委員 380人と書いてあるが、380,000円ぐらいではどうなんですかね。

いずれは他のクラブもこうなっていくのではないですか。スポーツクラブ21は助成金が無くなると大変だと思うのですが・・・ まだ時間があると思いますが、2・3年前からそういう話は出ていましたけれど、財務計画をきちっとしておかなければ大変だと思います。

野島委員 山手は基金だけでも700万円残っています。大嶋委員から30万円ぐらいで事業ができるのかと言われましたが、年間わずかな基金の取り崩しで事業が来ています。浜風と精道はまだ設立して間が無いので基金の残額が多いというのはわかりますが。

事務局 朝日ヶ丘はイベントをうまく活用していらっしゃる。会費とイベント参加費は別ものとして徴収されている。イベントの費用は参加費でできるだけ賄うということで基金を使わないようにしておられると思います。

野島委員 朝日ヶ丘は会費も沢山いただきますが、イベント毎の会費も取るから、基金以外

のお金も沢山有るからいいのですが、山手や三条も基金残額が多いから、永久的に残されるのかな・・・こういうやり方もあるのだなと・・・

最初に学校施設をお借りするという事で改修をしたので大きな額が基金から無くなったのですが、山手、三条は新設校だったのでその費用が要らない。この差が大きい。朝日ヶ丘が一番古かったから改修費用に多額な費用がかかった。この差が大きいから助かるクラブと基金残額が少ないクラブとが出ています。

事務局 今の大島委員の自主運営というところで、県下の大半がクラブ内の各種目が会計をもっていて運営している。そのクラブが集まってスポーツクラブを形成している。

芦屋のコミスクもほぼ同じであろうと思います。基本的には自主運営は元々コミスク活動時代からされている。そこにどのようにレベルを上げていくかということはあるかと思いますが。県下827クラブあるのですが、ほとんどが5年で使うということではなくて、あるクラブでは20年のスパンで考え、徐々に育成費用を使っている。5年で使ったところが少数ですけどあります。20年以上の計画を立てているクラブもある。

但馬などは、元々コミュニティが無いのでいろんな種目を作ろうと用意して、実施しているところは、全部会計全体をスポーツクラブが持っている。

芦屋は元々コミスクという地域コミュニティが有って種目ごとにそれぞれ会計をもって運営されているので、そもそも自主運営されている。

県は最近総合型クラブとは表現されないようですが、多種目、多目的、多世代、自主運営とすることが理想とされている。

元々、種目毎に自主運営をされていて、スポーツにおける地域コミュニティは昭和52年（三条コミスク設立年）には自主運営がされていて、宮川も基金がなくなってもそれなりにやっていけると思います。ただし、全体の行事となってくるとお金が無いという現実が出てくると思います。

大嶋委員 9つのスポーツクラブがあって、あるクラブには1,000万円残っているところと、無いクラブは0円である。それが、ひとつのレベルで活動する時、余裕のあるクラブの会員は基金からの補助があるので楽だが、宮川のように無くなったら市から補助金を出して、ある程度レベルを上げてでも、そのクラブを応援するというようなことはないのですか。そうしないと今のような形ですとスポーツクラブに入っている人は会費が1000円が1500円、2000円に値上がりすることが有るかもしれない。基金0円なので。貯金が無くなったら自分たちで負担しなければならない。

事務局 宮川のやり方が良い、悪いではなく、宮川の戦略がそういう使い方であつた。

大嶋委員 残っているところは余裕を持って活動をやっていけるけれど、宮川は無いからしかたないということは、会員が負担を強いられるのではないか。そうなれば宮川のスポーツクラブというのは会員の負担が大きくなって大変ではないのですか。

野島委員 今言われたように、各種目クラブは自主運営されているのだから、例えば印刷の機械を買うとか、これはスポーツクラブで買わなければならないので、そういう維持費は会費の中から払っていかないと、今までは基金から払っていたけれど、基金がなくなれば、会費から払わなくてはならないが、そんな大きな金額ではないので、年間40万～50万円収入があれば維持はできると思います。ただ、各種目クラブに補助してあげようかということではできない。それを承知で宮川は基金をお使いに

なっただと思います。

大嶋委員 同じ金額を貰ったのですから、それを何に使ったかは知りませんが、これから活動するにおいて、余裕があるクラブと無いクラブとでは、無いクラブは自ずと自分で負担していかなければならない。負担していかなければならないのなら大変だろうな、うちのクラブはこんなことをしたいが、お金が無いからできないから出来ないということはある。それは自分たちが使ってしまったので仕方が無いですよ。諦めればいいのですが、子ども達にそんなことできないでしょうからね。

事務局 補助金を出すのは県や市だけではないので、いろんな団体が福祉や地域づくり等の目的に応じた補助金を出しておられる。研究されて申請されるのも一つの方法かと思えます。

教育長 収益を上げているクラブもあると思えます。バザーなどされているクラブがあるのは皆さんご存知ですか。

野島委員 知っています。バザーをしたり、いろんな所から頂いています。

それで補って、少しは裕福になっています。道具を買わなければならないのですが、それなどはできるだけそういうお金で買っています。

宮川はすごく設備投資をされていますので、それなりに金額がいるので。その設備投資をしたから、子ども達が使えろという豊かさがあります。山手はそのような設備投資が無いから、これから設備投資をされればこれから大きなお金が要りますから。早いか遅いかの違いという気がします。朝日ヶ丘も設備投資もしました。でも、その設備も消耗していくので、10年スパンで考えると、会費1,000円もらっているのを貯めて、10年、20年後に子ども達のために使えるように貯めているのです。

大嶋委員 わかりました。宮川も頑張っていたかと思えます。

委員長 それではスポーツクラブ21芦屋市連絡協議会の設立についての説明をお願いします。

事務局 芦屋市連絡協議会を設立させていただきました。会則につきましては、レジユメの最後にあります。

連絡協議会は5月21日に20年度の役員決定、全県・芦屋市連絡協議会の会費について、20年度クラブアドバイザー派遣について(山手、朝日ヶ丘、岩園)、19年度の会長から20年度第一回全県連絡協議会の報告を受けました。

9月9日は全県サミットの報告、20年度阪神南地区交流フェスティバルの開催について、20年度芦屋市推進委員会の開催に向けてのスポーツクラブの現状と育成状況について話し合い、別紙のとおり各クラブの現況をまとめております。

11月5日は20年度阪神南地区交流フェスティバルの種目及び出場者について、話し合いをしました。全県連絡協議会への初めての会費を各クラブ1,000円で9千円を納入いたしました。

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表については、クラブからは県に提出していただいております、各項目に沿って、各クラブで評価されています。

事務局 最後のページですが、調査書に運営上の課題、悩みや将来の構想について書き込まれた意見です。

宮川からは入会希望団体や新しい種目を増やそうと思っても施設不足で限界がきている。施設の不足が出てきています。

山手からは、地域ならではのお悩みです。縦に長い校区なので、放課後、休日は一旦家に帰ってしまうと学校へ来る人が少ない。PRはしているのだけれど難しい。指導者についても、お手伝いしていただける指導者がなかなか無いので困っている。

精道については、総合型クラブを目標にしておられて、今再構築されている途中で、難しいが何とかやっけていこうとしておられます。

最後に岩園ですが、いろんな思いがありますので、読んでいただきご意見をいただきしたいと思います。

委員長 その他に意見、ご質問等がありますか

大嶋委員 一つのクラブが300人から500人の会員数のクラブですね。1クラブ300人のスポーツクラブが芦屋市に9つも必要なのかと私は思います。集約できないのですか？小学校区で作ったものなのですが、将来のことを考えると芦屋市に9つも必要なのかどうかと思います。300人や500人では会費を1,000円くらいとっても、1クラブの維持は大変だろうと思う。スポーツクラブを存続させるのだというのなら、集約して小学校校区を中学校校区にするか、集約の方法を考えたらどうか。

大嶋委員 芦屋市にはコミスクがあり、コミスクと両立を考えておられるのですから、コミュニティスクールはそのまま、スポーツクラブは2か3のクラブが合併してやったほうが、人間も沢山集まって、1,000人ぐらいの単位でやらないと存続できないのではないかと。300人ぐらいでクラブを存続するのは難しいと私は思う。

事務局 野島委員も古津委員も言われたように、施設も限りがある中で、それを広げられるかどうかということです。そこがポイントで、スポーツで地域コミュニティを支えていくのは大変大切ですが、たぶん300人のところは400人、500人が望ましい、実際にはこれ以上施設開放を広げられないという実情があると思います。

野島委員 大嶋委員が言っておられることはわからないでもないが、特定の高齢者のスポーツだったら、1クラブでの運営も難しい、芦屋市全体で考えなければならない。子どもは小学校区で十分人数が足りると思う。グラウンドゴルフでも会員が市内に点在しているからスポーツクラブに入っている人、入っていない人がいます。

大嶋委員 それは違います。

野島委員 基金を頂いているので、行わなければならないのですが、今言われたように芦屋市には施設が無い。1,000人も集めたら、どうやって施設を利用するか根本的なことを考えないと、スポーツクラブを大きくするのは無理と思う。

朝日ヶ丘は子どもと60歳以上の方が大半で、中高生はほんとうに入りにくい活動しにくい時間帯と場所でもあるから、中高生や働き盛りの方をどう勧誘するかが大きな課題です。施設利用も午後8時までなので、勤労者には使用できる時間帯ではないのが現状です。

大嶋委員 300人いらっしゃいますが、行事に参加される方はその一部分ではないのですか。組織として100人ぐらいの組織にして、朝日ヶ丘や岩園を交互に使って施設を分担して行なうことを考えないと、芦屋の施設は足りないです。もう少し集約して、クラブ数を減らし、小学校区は支部として活動したほうがよいと思う。地域コミュニティはコミスクで十分足りるので、スポーツは範囲を広げてもよいのではないかと。飛躍した言い方になるかもしれませんが。

委員 長 今、コミスクがあるから、スポーツクラブを中学校区等に広げてもよいという意見ですが、コミスクがあるから、スポーツクラブがうまくいっていると思います。コミスク抜きだと運営面でかなり混乱するであろうと感じます。大島委員の意見はかなり難しいと思います。

西 課 長 今日の内容については、連絡協議会での話し合いにつながるとと思いますので、宿題をいただいたということで終わりたいと思います。

委員 長 その他の重要なことはありますか。

委員 長 長時間にわたりありがとうございました。

橋本部長 活発な意見交換をありがとうございました。意見をお聞きしていただきまして解決が難しい課題が多いなと複雑な気持ちです。学校の施設をいかに使用させていただけるように話し合いをすることが必要だと思います。

スポーツリーダーの育成や蓄積をしていく必要があるということがあると思います。地域の差が出ないように指導者の派遣も考えていきたいと思います。

これからいろいろな立場からご意見をいただきたいと思います。

ありがとうございました。